

# 「企業×NPO×学校×行政パートナーシップミーティング2025 in 逗子

## ～まずは地元から～ 実施結果

- 1 日 時 令和7年2月1日（土） 14時から17時15分
- 2 会 場 逗子文化プラザ さざなみホール
- 3 参加者数 56名（内訳：企業15、NPO等26、教育機関4、個人10、行政1）  
（逗子市を中心に、葉山町、鎌倉市、三浦市等周辺地域から参加）

### 4 概要

#### (1) 基調講演

「一般社団法人いなかパイプ」代表の佐々倉玲於氏による都会といなかのマッチング事業についてご紹介いただきました。「いなか」では高齢化や人口流出により産業の担い手が不足しています。「とかい」では、メンタルヘルスの問題をかかえていたり、経済的に困窮するなど多くの課題を抱えている人たちがいます。地域産業の担い手がない「いなか」と、自分にあう働き方がない「とかい」を結びつけることで双方の課題を解決しようとする取り組みについて、具体的な事例も踏まえてご説明いただきました。

#### (2) 事例発表

三浦半島での2つの事例について発表いただきました。

##### ① 「CoCoLoの会」吉原千草氏×「スズカク農園」鈴木彩子氏

「CoCoLoの会」の吉原千草氏と「スズカク農園」の鈴木彩子氏の事例発表では、「スズカク農園」で採れた大根のうち、規格外(大きさや形が規定にそぐわず、通常の流通にはのせられない)のものを、「CoCoLoの会」が預かり、逗子や葉山の飲食店や地域の販売所、不登校の子どもたちへの無料給食として活用する事例が紹介されました。

##### ② 「逗子竹活」内山学氏

「逗子竹活」の内山学氏による事例発表では、街の防災力・防犯力・美観向上の観点から市内14カ所の竹林整備を行うとともに、整備で排出される間伐材を持続可能な地域資源として活用する取り組みについてご紹介いただきました。

#### (3) マッチングタイム/交流タイム

はじめは、事務局でグループ分けしたメンバーでテーブルを囲み、1回目のマッチングタイムを行いました。各テーブルには1名ずつのファシリテータを配置し、マッチングがスムーズに行われるよう適切な促しや誘導を行いました。1回目終了後は、事前に配布した資料を元に参加者の団体名・氏名を読み上げ、参加者にご起立いただき、団体名・氏名と顔を一致させ、各自がそれぞれマッチングしたい団体や個人と直接話し合う場を設けました。

また、適宜、会場司会者による呼び出しを行い、マッチングを促しました。その後、参加者がそれぞれ連携したい相手と名刺交換、情報交換を行い、交流する姿が見られました。

その他、会場の後方にて「スズカク農園」の規格外野菜や「CoCoLoの会」の関連商品、「逗子竹活」の竹細工等関連商品の販売も行われ、販売の場でも情報交換等、交流が見られました。

